

未来へ(東中だより)

第14号 令和4年11月28日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ
「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL:0952-52-2529 Fax:52-8184

<https://www.education.saga.jp/hp/higashisefuri-j/>

微視と巨視 全校集会から

11月24日の全校集会で、キャリア教育の視点から、生徒に以下のような話をしました。

教師をしていると、たまに生徒から「なぜ英語の先生になろうと思ったのですか。」と質問されることがあります。そんな時に私は、高校生の時の体験を思い起こします。小学校のときから所属していた少年剣道クラブが、スポーツ少年団に入っていたこともあり、日本と西ドイツのスポーツ少年団の交流事業で、当時の西ドイツに行きました。高校1年生の時です。

フランクフルト、**ミュンヘン**、**シュタウフェン**などで、ドイツ南部の少年少女とスポーツを中心に交流をして回りました。彼らは日本語が話せませんし、私たちもドイツ語は話せません。ですから意思疎通の言語は自然と英語ということになります。当時ドイツの中高生は、リアルシューレ、ハウプトシューレ、ギムナジウムのどれかで学んでいました。特にギムナジウムで学んでいる同年代の少年少女は、英語が私よりも達者でした。そして驚くことに、フランス語とラテン語もできるということです。これはもう、カルチャーショックでした。

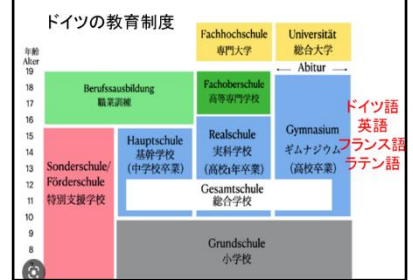
ヨーロッパでは国境が地続きであり、外国語の必要性が高いということも考えられますが、その時私が強く思ったのが、「日本人は負けているな」ということです。英語一つにあくせくしている自分が情けなくもなりました。その思いを持ち続けていた私は、大学で国語の先生になる勉強の傍ら、英語の授業を多く受けて、英語の先生の免許を取得することができました。結果的に、国語よりも英語を教えた年数が多くなりましたが、あのドイツでの体験がなければ、今の私はなかったと思います。

日本を離れてみることはとてもよかったと思います。それは、外から客観的に自分の住む日本を見ることができたからです。先ほど日本人は負けているなど思ったと述べましたが、逆に日本の良いところも再認識することができます。治安が良いこと、街がきれいであることは、日本人の道徳的な高さ・親切心・おもてなしの心などにつながっていると思います。私は海外で、スリの一味に狙われたことがあります。日本ではあんなに多くの自動販売機が無造作に置いてあることを、海外の人々は驚きをもって見えています。イギリスでは早朝の町をゴミ清掃車が走ります。サッカーの試合の後などは、道路がごみでいっぱいになります。ワールドカップのあとで日本の観客がごみを持ち帰ることが、海外で大々的に報じられるのも、私は理解できます。

それでは、海外に行かなければ大局的・巨視的な見方はできないのでしょうか。私はそうは思いません。一步高いところに視座を置いて物事を見直してみると、同じようなことができるでしょう。例えば、山の上から下を眺めると、車が小さく見えます。もちろん人の動きなど本当に微々たるものです。また、宇宙や生物の歴史をひも解くと、人間の営みのなんと小さいことかと思うでしょう。目の前のことや人間関係などで悩んでいることが馬鹿らしくなったりもします。

目の前のことに一生懸命取り組むことを、否定しているものではありません。目の前の進路のこと、来るべき生徒会長選挙のこと、宿題のこと、部活動のこと、それらにがっぷり四つで取り組みながらも、場合によっては、一步引いて見つめなおす巨視的な眼を持つことも必要だと思うのです。それが皆さんのグローバルな視野と冷静な判断力につながっていくものと信じています。

なぜ英語の先生に？



結論 微視と巨視のバランス

○時に、一步引いて見つめなおし巨視的な見方を持つことも必要。

○それがグローバルな視野と冷静な判断力につながっていく

避難訓練 (11月16日)

11月16日(水)に、本年度2回目の避難訓練を行いました。今回は不審者対応の訓練でした。大阪の池田小学校で起きた事件を知らない世代が増える中で、緊急対応の訓練は欠かせないと考えています。

今回は、校舎内に入ってきた不審な人物に職員が声掛けを行い、相手を興奮させないようにしつつ必要に応じて制止しました。職員室への応援要請、警察への通報、生徒の避難誘導といった連携を行いました。

避難の後には、神埼警察署東脊振駐在所の井上様と生活安全課の小柳様に、犯罪を未然に防ぐため日頃から注意することや、SNSの安全な利用などについて、お話をいただきました。

今後は、刃物を持った不審者への制圧訓練や、日時を明示せずに行う臨機応変な訓練行うことも重要だと考えています。

マイスター認定証授与 (11月24日)

先日、生徒が毎日使っているスケジュール帳(フォーサイト手帳)を見させていただきました。



「フォーサイト」とは、日本語で「先見」を意味します。

多くの生徒が、「やること」をリストアップし、先の予定を立てて、頑張っていました。テスト勉強の週間の記録を見ると、ある3年生は週30時間の家庭学習を目標に掲げ、実際には、49時間5分だったと記していました。

2年生のある生徒も25時間の目標に対して、28時間の学習を行っていました。その日のつぶやきを英語で書いている生徒、イラストで表現している生徒などがいて、活用に工夫が見られました。1年生も活用に慣れてきて、テスト用のナビゲーションシートに対応させて、計画を立てていることがわかりました。

今回マイスター(達人)と認定された生徒は、以下の通りです。(右下は1年生の手帳です。)

- 3年 高橋真由 栢木華凜 原 優佳
鶴崎生真 大園樹璃
- 2年 光益優士 西村成未
北嶋蒼一郎 中島健登
中島菜奈 柿添紗季
井上陽和
- 1年 泉里希彩 川崎柑奈
森山夏帆 徳安那南
宮地琉生 篠原 夢
中島あおい 今泉優杏
田島柚奈



保護者の声

学年だより・学級だよりから

★学年だよりや学級だよりに寄せられている、保護者の皆様の声を紹介します。★

○3年生最後の行事を無事に終わることができてよかったです。あとは、受験に向けてしっかりです。(3年)

○将来の目標、目的を持つことは、とてもいいことです。途中いろんな経験をして、目標とするものが変わるかもしれません。でも、それもいいんだよ。そのつど、目的に向かって前を見れることが大切です。そんなあなたを応援しています。(2年)

★入賞 おめでとう★

○七夕書き方会地区審査

- 毛筆特選 嘉村 媛 栢木華凜 中島菜奈
池田和香
- 硬筆特選 徳安那南
- 毛筆入選 陣ノ内すみれ 藤井沙羅
筒井沙和 米倉加純 吉村彩芭
小池侃央 山口実希
- 硬筆入選 内田美穂 原 優佳 久保山蓮
中尾真悠 湯川愛音 森山夏帆
野中菜生

○アジアパシフィック・カヌー競技大会 第3位 元石暖華

○佐賀県理科発表会

- 神埼市教育長賞 豊田稟心 中島菜奈

○佐賀県学童美術展県審査

- 平面の部 特選 徳安那南
準特選 光益優士

○佐賀県学童美術展地区審査

- 平面の部 入選 中尾真菜 福田姫愛
今泉優杏 牟田安那
牟田口優依 石井璃衣子
中島菜奈 宮崎尚子
池田和香 湯川愛音
野中綾乃 廣瀬結空
安藤由芽 筒井沙和
鶴崎生真 久野双葉

